

2. 中期経営計画について

2019 年中期経営計画 「Innovation 新次元」～価値実現へ向けて～

《計画期間：2019 年 4 月から 2022 年 3 月までの 3 年間》

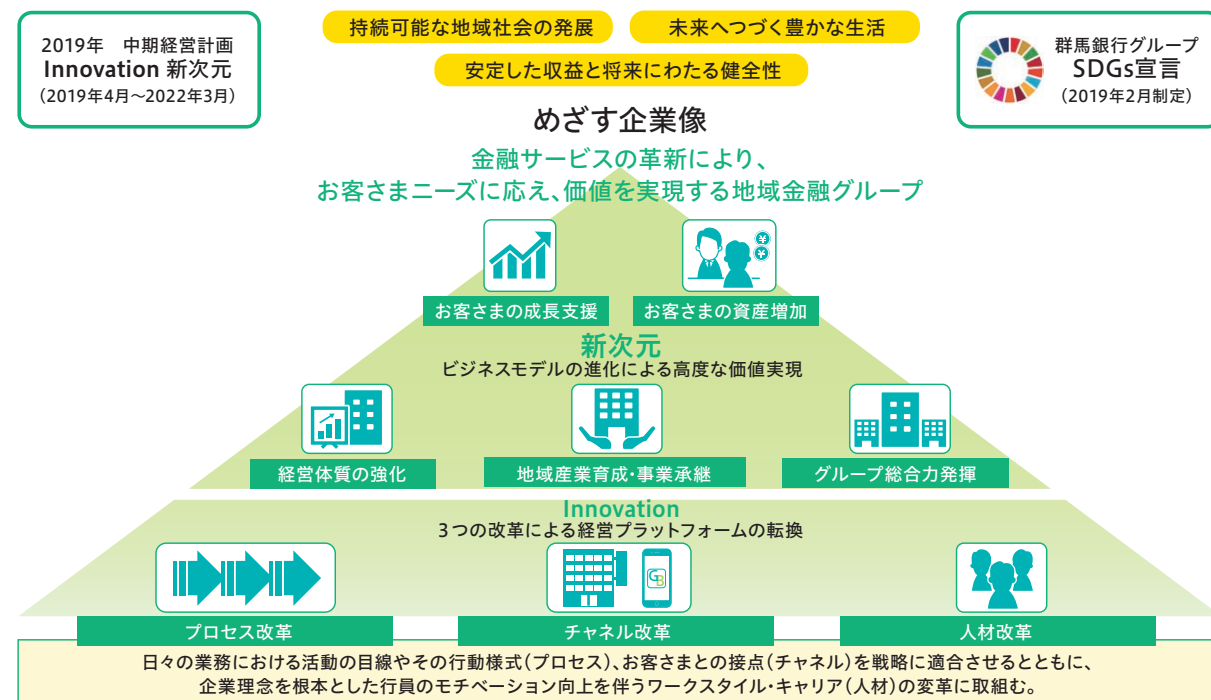
考え方について

当行は、「2013 年 中期経営計画 V-プラン ～価値提案銀行への進化～」から「2016 年 中期経営計画 Value for Tomorrow ～価値ある提案を明日に向けて～」にわたる 6 年間において、「価値ある提案」を基本コンセプトに、お客さまへ当行ならではの提案を行いサポートすることで、地域とお客さまとともに成長することをめざしてきました。

本計画では、社会情勢の変化を踏まえ、これまで 6 年間取組んできた「価値ある提案」を礎として、その提案価値を実現することに主眼を置き、提供するサービスの革新により、「価値を実現する金融グループ」への発展をめざし、名称を「Innovation 新次元」としました。

本計画は「SDGs 宣言」の考え方にも基づいて策定されており、本計画の達成に向け「価値の実現」に取り組むことで、持続可能な地域社会の発展や未来に続く豊かな暮らしを実現し、当行の健全な発展につなげていきます。

《中期経営計画骨子》



めざす企業像と基本方針

■めざす企業像

金融サービスの革新により、お客さまニーズに応え、価値を実現する地域金融グループ

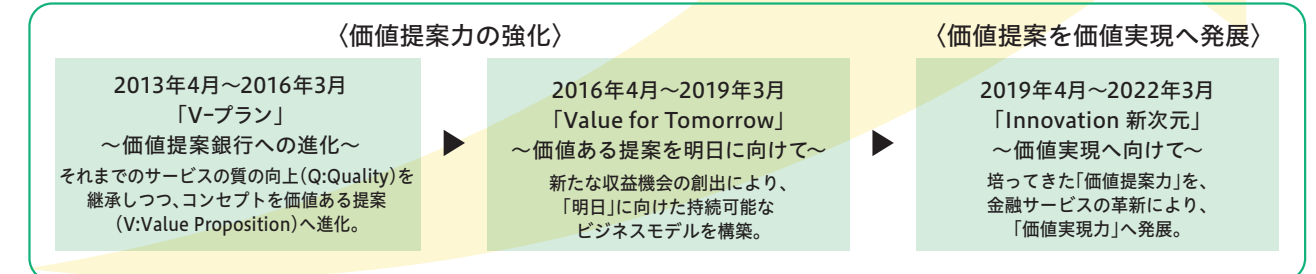
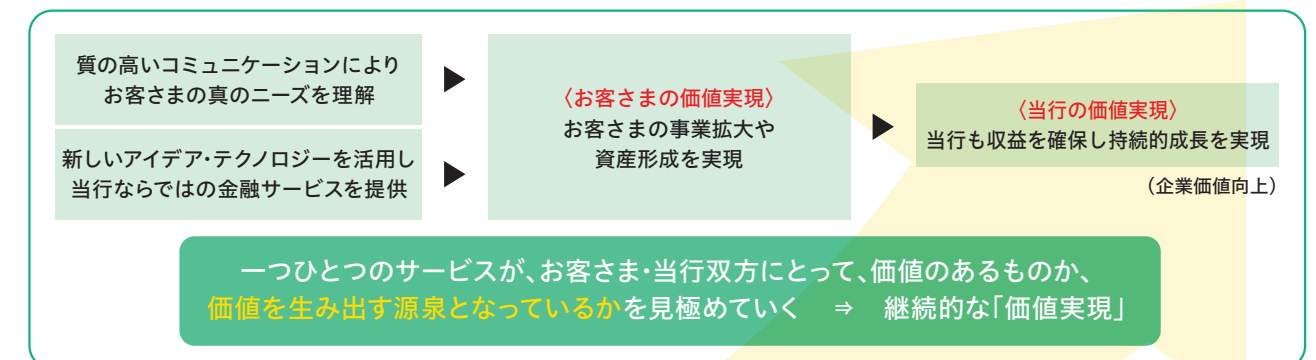
■2つの基本方針

Innovation	新次元
3つの改革による経営プラットフォームの転換 ①私たちの日々の業務における活動の目線やその行動様式（プロセス）、②お客さまとの接点（チャネル）、そして③企業理念を根本とした行員のモチベーション向上を伴うワークスタイル・キャリア（人材）の3つの変革（Innovation）に取り組む、新たな戦略に実効性を伴わせるための構造改革を行います。	ビジネスモデルの進化による高度な価値実現 これまで培ってきた「価値ある提案」を引き継ぎつつ、従来からの金融サービスの延長ではなく、個々のお客さまの真のニーズに応えられる質の高いコンサルティングを実践することで、お客さまにとって最良な「価値実現」を追求するとともに、収益構造の抜本的な転換（新次元）をめざします。

■ 当行がめざす価値実現

■ 培ってきた提案力の開花

〈お客さまのニーズを捉え、当行ならではの金融サービスを提供し、お客さまと当行双方の価値を実現します〉



■ 計数計画（計数目標）

■計画最終年度（2022 年 3 月期）における連結計数目標

〈収益性指標〉	親会社株主に帰属する当期純利益	240 億円
	非金利業務利益	200 億円
	RORA	0.5% 以上
〈効率性指標〉	OHR	65% 程度
〈健全性指標〉	総自己資本比率	12% 台

■長期目標

〈収益性指標〉	ROE	5% 以上
---------	-----	-------

■計数目標の達成に向けた主要計数

〈資金利益〉	リテール貸出末残	4 兆 7,800 億円
	無担保消費者金融ローン末残	600 億円
〈非金利業務利益〉	法人役務収入（連結）	42 億円
	預かり金融資産残高（連結）	1 兆円
〈地域活性化 /SDGs〉	事業性評価に基づいた課題解決件数	1,500 件
	事業承継支援先数	6,000 先
	創業支援先数	2,000 先
	女性管理職数（2019/3 末比）	20% 増加

※各計数目標の進捗状況については、P24～P35をご覧ください。

※当行ホームページに中期経営計画のアナリスト向け説明会資料を掲載しています。こちらより、ご覧いただけます。



<https://www.gunmabank.co.jp/ir/hosin/pdf/setsumeikai.pdf>